

【手作り応援のぼり旗・いちご一会花リレー】

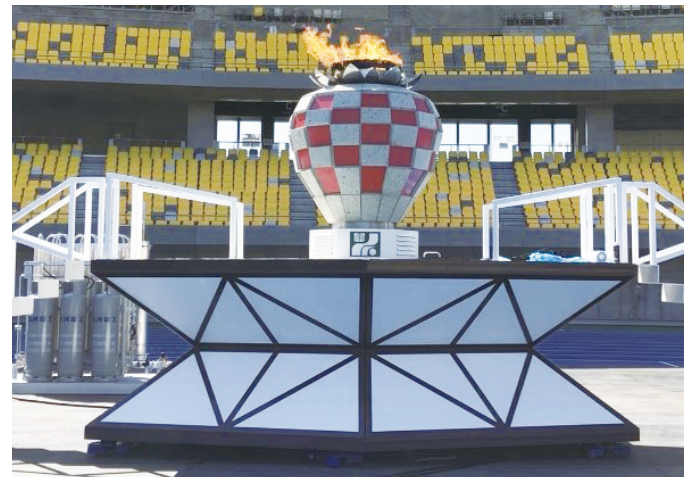
栃木県内の幼稚園・保育園の皆さんや小・中・高等学校及び特別支援学校の児童生徒等が作成したのぼり旗や育苗したプランター飾花が、来場した選手団等を温かく迎えました。



きよ か だい きよ か し まち きよ か 炬火台・炬火トーチ、市町炬火イベント

【炬火台】

炬火台は、県民公募のデザインを基に県内企業の協力を得て制作され、開・閉会式においてカンセキスタジアムとちぎで使用されました。



〈炬火台(イチゴ部分)〉

栃木県特産のイチゴをモチーフとし、東日本大震災時に崩れた塀などの大谷石を再利用。
全高 約1.6m、全幅 約1.6m、重量 約1t

〈炬火台座〉

栃木県の戦略3産業である航空宇宙産業の中でも、『人工衛星』をイメージさせる近未来的な形状。
点火者の足元には『烏山和紙』を挟み込んだパネルを設置。
全高 約1.7m、全幅 5m(階段除く)、奥行き3.5m、重量 約2t

【炬火トーチ】



栃木の川の流れを緩やかな流線形と青のラインで表現し、栃の葉を加えた緑のラインは栃木の自然を表現しています。
また、展示用の台座には、県木であるトチノキを使用しました。市町での炬火イベント、総合開会式での集火、式典での炬火点火に使われました。

【炬火燃料】

炬火台用の燃料の一部には、古河電気工業株式会社から提供されたグリーンLPガスが使用されました。



このグリーンLPガスは、栃木県畜産酪農研究センターが飼養する乳牛のふん尿を活用し、生産したバイオガスを原料としています。化石燃料の使用が抑えられる環境に配慮した地産地消エネルギーとして、両大会史上初めて用いられました。

【市町炬火イベント】 県内全 25 市町が主催し、各地域の特色を活かして県民の皆さんが「炬火」を採火・集火するイベントとして実施されました。



〈ミニ炬火台〉

炬火台の約 4 分の 1 サイズのミニ炬火台を制作し、市町炬火イベントなどで使用しました。



宇都宮市



足利市



栃木市



矢板市



那須塩原市



佐野市



鹿沼市



さくら市



那須烏山市



小山市



日光市



下野市



上三川町



真岡市



大田原市



益子町



茂木町